



日刊 労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222) 7207番}

93.1.25 No. 3728

千葉動力車労働組合

「疑問は

服従してから言え」

団交が開催された。

千葉支社当局は、昨年末手当を支払いにあたって、またも、十一名の仲間たちに不当な減額攻撃を行なった。動労千葉は、減額の撤回と理由の開示を求め申し入れを行い、一月二〇日、団交が開催された。

団交のなかで明らかにされた減額理由は、そのほとんどが「指針唱和」と「カーテン」である。しかし、乗務前の点呼に「経営指針」を唱和させるなどということに、一体いかなる意味があるのか！ しかも、この指針唱和なるもの、東京ではすでにやられていることである。

同じJRの職場で、一方では「唱和拒否」を理由に賃金までカットされ、別の職場では、唱和などやっていなかった。この点について、団交でのやり取りは次のとおりである。

組 指針唱和など全然やつてい

ない所もあるのはどういうこ

とか。
(人事課)

組 本社で決めたものでも支社

で決めたものでもないということか。何故そんなものが年未手当てカットの理由となるのか。



いや、経営指針の唱和をやるということ事態は本社で決めた。具体的にどうやるかは各現場で決めている。だから三つあるうち、一つだけやるとか、三つ全部やるとかは、現場長の判断によって違う。

(勤労課)

組 人事課と勤労課と言うこと

が違うではないか。

組 (人事課は、その後も本

社では決めていないと言い

続け、当局内部で見解が対立し続ける)

当 就業規則ではないが、「業務」という問題を広くとらえるか狭くとらえるかの違いだ

組 唱和する職場があつたり、しない職場があつたりするこ

とにについて、現場では当然疑問の声が上がっている。これ

に対し、会社側は、どのように説明するまのか。

当 現場長が指示しているとい

うのが理由だ。疑問があるな

ら、唱和を実行してから言え

ばいい！

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶対服従だ、服従しない者には、疑問をさしまさむ権利もない、というのだ。「強制的同質化」ということがファシズムの特徴であるというが、JRの論理は、まさに企業ファシズムそのものである。

と判断されカットされるなど、こんなおかしなことがあるか。

組 指針唱和のどこが業務なのか。指針など会社がかつてに決めたものであり、業務でも就業規則でも何でもないではないか。

当 いわゆる「業務」という問題を広くとらえるか狭くとらえるかの違いだ

組 唱和する職場があつたり、しない職場があつたりするこ

とにについて、現場では当然疑問の声が上がっている。これ

に対し、会社側は、どのように説明するまのか。

当 現場長が指示しているとい

うのが理由だ。疑問があるな

ら、唱和を実行してから言え

ばいい！

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、

というのだ。「強制的同質化

」

これがJRの論理である。

組 以上は、交渉経過のとく

一部だが、恐るべき論理である

！ 現場長の指示することは絶

対服従だ、服従しない者には、

疑問をさしまさむ権利もない、